

たずねて

昭和30年3月31日に誕生した大豊村。
その後、合併以来17年間の「村」の名称に終止符をうち、昭和47年4月1日に町制施行し、人口12,697人で現在の「大豊町」が発足しました。
先月号では、昭和40年代前半のできごとを掲載しましたが、今回は、昭和40年代後半のできごとを写真で振り返ります。

昭和47年4月20日
学校給食センターが操業開始



当時、県下で16番目、給食人数では嶺西に次いで2番目の規模として、4月3日に落成式が行われました。

毎日ここで約1,700人分もの給食が作られ、町内中学校5校、小学校12校へ配達されました。

ちなみに、6月8日の献立は、パン、牛乳、カレーシチュー、アップルシャーベットでした。

昭和47年 立川小学校建築中（成川）



昭和47年8月着工、翌48年1月に完成した鉄筋
コンクリート2階建の立川小学校。
3月3日にはもち投げなどが行われ、盛大に落成
を祝いました。

昭和47年(1972年)の
音楽、できごと

*瀬戸の花嫁
(小柳ルミ子)

*男の子女の子
(郷ひろみ)

*あの鐘を鳴らす
のはあなた
(和田アキ子)

*札幌冬季
オリンピック開催

*ミュンヘン
オリンピック開催

*沖縄県足
など

交通安全指導（高須）



青年団活動（穴内三区）



昭和40年代
回顧



大豊中学校体育祭（黒石）



大豊中学校汽車通学（大田口駅）

〈9月号は、昭和50年代のできごとについて掲載の予定です。〉

風水害と避難を学ぶ

雨の多くなる6月から10月は、出水期と呼ばれ、河川のはん濫や土砂災害、高潮などの風水害により、例年多くの方が被害にあっています。

これからの時期、大豊町では、台風や大雨による土砂災害や洪水、暴風等に注意し、必要な時は、町の避難所など安全な場所に避難することを心がけましょう。

風水害からの避難は、その方法や避難のタイミングを、日ごろから良く考えておくことが重要です。なぜなら、風水害の被害に遭う人には、避難しない人だけでなく、避難している最中の人もいますからです。

平成21年の台風9号では、兵庫県佐用町に記録的な大雨が降り、洪水やがけ崩れ等が発生し、佐用町全体で20名の方が犠牲となりました。そのうち、11名は徒歩で避難中に被災し、8名は車で避難場所等への移動中に被災しています。避難せずに亡くなった方は1名だけでした。



図1:台風9号災害での佐用町の被災状況
(出典:平成21年 台風9号災害 佐用町久崎地区住民の防災対応行動
の調査研究報告書/ CeMI環境・防災研究機構)

風水害から安全に避難するためには、ご自身が住んでいる地域にどのような災害リスクがあるのかを知ることや、日ごろから避難について考えておくことが重要です。避難についてどのようなことを考えておけば良いか、確認しておきましょう。



を心がければ安全に避難できます。異変や危険を感じたら避難しましょう。

また、「大雨警報」や「暴風警報」「土砂災害警戒情報」が発表されている時は、災害の発生が迫っている時です。迅速に避難してください。

役場や周囲の人から避難の呼びかけもある

手することを心がけてください。
地域で協力しましょう

災害から安全に避難した人にそのきっかけを尋ねると、「周りの人が避難していたのを見たから」が多く挙げられます。率先して避難することが、周りの人を助けます。



自宅等のリスクを知った上で、どこへ避難するか考えておくことが重要です。

持ち出し品の準備

避難行動を迅速に行うためには身軽で安全なことが必須です。自力で運べる量をリュックサックに入れ、両手を空け、はき慣れた靴を履いて避難しましょう。長靴で歩くと、靴の中に水が入って動きづらくなり、かえって危険が大きくなります。

リュックサックに入れるのは、ご服用している薬とお薬手帳、入れ歯とメガネ、現金入りの財布、保険証と運転免許証、キャッシュカード、携帯電話と充電器、懐中電灯など、無いと困るものを優先します。また、飲み水や食料も忘れずに持っていくましよう。避難のタイミングを考えましよう

風水害は、地震や津波よりも、発生が予測されてから実際に災害が起こるまでの時間が長く、早めの避難

災害時には、逃げ遅れてしまうことも考えられます。その時は、命を守るためにできる最善のことをするように考えましょう。道路が浸水している時は、溝や用水路、マンホール等に気付かず非常に危険です。自宅の高いところや山と反対側の部屋など、できるだけ安全な場所にとどまることも必要です。

避難は考えておくだけではいけません。避難
先まで何分かかるか、準備した荷物を持つて歩
けるのか、途中にどんな危険物があるのかを確
認してみることが肝心です。避難訓練を行い、
課題を知り、避難の方法に更なる磨きをかけま
しょう。

「大豊町民防災塾」に関する問い合わせ先

総務課庶務班

☎ ⑨72-0450